

平成27年第11回教育委員会定例会議事録

平成27年7月8日（水）

杉並区教育委員会

教育委員会議事録

日 時 平成27年7月8日（水）午後2時00分～午後2時21分

場 所 教育委員会室

出席委員 教 育 長 井 出 隆 安 教 育 長 馬 場 俊 一
職務代理者
委 員 對 馬 初 音 委 員 伊 井 希 志 子
委 員 折 井 麻 美 子

出席説明員 事務局次長 徳 嵩 淳 一 学 校 整 備 大 竹 直 樹
担 当 部 長
生涯学習スポーツ 和 久 井 義 久 中 央 図 書 館 長 井 山 利 秋
担 当 部 長
庶務課長 岡 本 勝 実 教 育 人 事 藤 江 敏 郎
企 画 課 長
学務課長 正 田 智 枝 子 特 別 支 援 伴 裕 和
教 育 課 長
学校支援課長 朝 比 奈 愛 郎 学 校 整 備 課 長 喜 多 川 和 美
生涯学習推進課長 本 橋 宏 己 スポーツ振興課長 人 見 吉 也
済美教育センター 白 石 高 士 済美教育センター 大 島 晃
所 長 統 括 指 導 主 事
済美教育センター 手 塚 成 孝 済美教育センター 加 藤 康 弘
統 括 指 導 主 事 就 学 前 教 育 担 当 課 長
中央図書館次長 吉 川 英 一

事務局職員 庶務係長 井 上 廣 行 法 規 担 当 係 長 岩 田 晃 司
担 当 書 記 小 野 謙 二

傍 聴 者 数 2 名

会議に付した事件

(議案)

議案第53号 「平成27年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」の実施について

(報告事項)

- (1) 杉並区立杉並第一小学校等複合施設整備に関する今後の進め方について

目次

議案

- 議案第53号 「平成27年度教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価」の実施について・・・・・・・・・・ 4

報告事項

1 報告事項

- (1) 杉並区立杉並第一小学校等複合施設整備に関する今後の
進め方について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

教育長 ただいまから、平成27年第11回杉並区教育委員会定例会を開催いたします。

議事進行に先立ちまして、事務局より本日の会議について、説明をお願いいたします。

庶務課長 本日の議事録の署名委員につきましては、教育長より事前に折井委員との指名がございましたので、よろしくをお願いいたします。

次に、本日の議事日程についてでございます。事前にご案内のとおり、議案が1件、報告事項が1件となっております。

以上でございます。

教育長 それでは本日の議事に入ります。まず、議案の審議を行います。議案の上程、説明は事務局よりお願いをいたします。

庶務課長 それでは日程第1、議案第53号「『平成27年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価』の実施について」を上程いたします。私からご説明を申し上げます。

本点検及び評価の実施につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条によりまして、教育委員会が毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表しなければならないとなっております。

1枚おめくりいただきまして、まず、1の「目的」でございますが、杉並区では、杉並区教育ビジョン2012推進計画を策定しておりますので、推進計画における事業の取組状況の点検及び評価を行って、課題や今後の方向性を明らかにし、今後の効果的な教育行政の推進を図るものでございます。

また、あわせまして、この点検及び評価につきましては、教育委員会で報告書を作成し、決定した後、杉並区議会へ報告し、公表することとなっております。

次に2の「実施方法」でございますが、杉並区教育ビジョン2012推進計画には、「学びをつなげ、切れ目のない教育を進めます」、「学校の経営力・教育力を高めます」を初めとして、7つの目標がございますので、この目標達成に向けた主な事業で、かつ来年度の点検及び評価を勘案し、本年5月に改訂いたしました推進計画においても取り組む事業を中心に対象としてまいります。

そして、実施方法の（３）でございますが、「点検及び評価の客観性を確保するため、学識経験を有する者の意見」をお聞きすることとなっておりますので、現在、学校教育分野と社会教育分野につきまして、専門の知識を持った方をお願いをしたいと進めているところでございます。

（４）の点検及び評価の報告書につきましては、先ほどご説明したとおりです。

最後に３の「今後のスケジュール」ですが、今月から来月にかけて、事務局内において７つの目標に沿った各事業の点検評価表を作成し、その後、９月から１０月にかけて学識経験を有する方の意見をお聞きした上、報告書の案を作成してまいります。１１月には報告書の案を教育委員会において付議、決定をいただいた上で区議会に報告をし、区のホームページ等で公表してまいりたいと考えております。

私からは以上となります。なお、議案の朗読は省略させていただきます。

それでは、ただいま、私から説明をさせていただいた内容につきまして、ご質問、ご意見等ございますでしょうか。

折井委員、お願いします。

折井委員 実施方法についての確認をさせていただきたいのですが、（３）の「客観性を確保するため、学識経験を有する者の意見を聴取」とございますけれども、この方法とどのような方をお願いするかについて、もう少しお話をいただけますでしょうか。

庶務課長 まず、学識経験を有する方は、通常大学の先生ですとか、あるいはそれと同等の知見を持った方をお願いをしているところでございます。

方法といたしましては、推進計画の中には４０の事業がございますが、これを全て１つ１つとなりますと、かなり時間もかかりますので、このうち、今回は１９事業を予定しておりまして、その事業を選んで、それについて、事務局の中でまた評価表を作成し、それを学識経験者の方にご説明をさせていただきます。そのときに意見交換をして、学識経験の委員の先生はそのヒアリングの中でいろいろ聞き取った後、その目標に沿った事業について評価をしていただいて、おおよそ１カ月から１カ月半の後に今度は委員の方々が作成した評価表をもとに私たちが意見を聞か

せていただいてすり合わせを行うと、そういうものでございます。

折井委員 ありがとうございます。

庶務課長 ほかにご意見、ございますでしょうか。

教育長 この点検及び評価の、ずっと課題というか、問題として残されてきていることの1つに、いわゆる数値目標を設定して、それができたかできないかということの議論になりがちなのですけれども、例えば、事務でしたら、何月何日までにやったかやらないか、これはやったと。あるいは、3回やれと言ったら2回しかできなかったとか、3回全部やったとかっていう、そういう評価になっていくわけですがけれども、そのほかになかなか内容的に数値化することが難しいことをあえて数値化して、評価をして、その数が高かったからよしとするとか、低かったらよくないとするのかというのは、これは議論の分かれるところだと思います。無理に数値化をして、その数値に到達するためにその事業を展開するとすれば、これはまた本末転倒なことになるし、教育の成果というのは、なかなか数値化できない部分もあって、誤解を生むのは、その教育の成果というよりは、その教育委員会事務局の事務事業のその点検・評価だから、どうしても数値とか期限とか長いとか短いとかかなりがちで、その辺の誤解をやはりどこかで整理をしていく必要があるかなというのは今回ずっと思っています。

どっちがいいとか悪いとかではなくて、そういう性格の評価なのだというのであれば、そういうことを区民に理解してもらう必要があるし、逆に、いわゆる事務事業なり、事務の評価ということではなくて、教育の成果をどう評価するということになれば、それはそれでまた別のところで議論をしていく必要があるかなと。

つまり、教育の成果を数値に置きかえて評価していくこと、評価できるものはそんなにたくさんあるわけではないし、何でもかんでも数値化することが妥当かどうかということも議論しなくてはいけない。

ですから、今回の点検・評価は、事務の評価であって、そのあたりがどういう形で点検・評価されるのかということは、やはり、説明をよくしていく、議会においてもそういう説明はしていく必要があると、そんなふうに思います。

庶務課長 今のご意見は、今までの評価の中でも、委員の方から同様のお話をいただいております、数値であらわれない部分がたくさんあるは

ずだから、そういうものをきちんと伝えていくようにしてほしいという
ような形で何度もお話をいただいているところです。事務局といた
しましても、この手続の中で、そうしたご意見も踏まえて区民にわかり
やすくお伝えできるようにしていきたいと思えます。

ほかにご意見いかがでしょうか。

それでは、教育長、議案の採決をお願いいたします。

教育長 それでは議案の採決を行います。議案第53号につきましては、原
案のとおり可決をして異議ございませんか。

(「異議なし」の声)

教育長 それでは異議ございませんので、議案第53号は原案のとおり可決
といたします。

引き続きまして、日程第2、報告事項の聴取を行います。事務局から
説明をお願いいたします。

庶務課長 それでは、報告事項1番「杉並区立杉並第一小学校等複合施設
整備に関する今後の進め方について」、学校整備課長からご説明いたし
ます。

学校整備課長 杉並区立杉並第一小学校等複合施設整備に関する今後の
進め方についてご説明いたします。平成27年度末までの杉並区立杉並第
一小学校等複合施設整備に係る基本構想・基本計画の策定に向けまして、
今後、以下のとおり取組を進めることとしてまいります。

「1 基本的な考え方」でございます。地域の最大規模の公共施設と
して、地域資源の有効活用を見据えた学校施設の複合化のモデル及び阿
佐谷地域のシンボルとなる魅力ある施設を目指し、次の視点を踏まえた
整備を図ってまいります。

1つ目です。学校教育環境の充実を最優先に考え、ICT教育環境等を整
備するほか、複合施設の機能を可能な限り学校教育活動へ有効活用する
など、将来を見据えた教育環境の向上を図ってまいります。あわせて、
阿佐谷児童館内学童クラブ及び小学生の放課後等の居場所事業が小学校
内で連携して実施できるよう必要な環境整備を行ってまいります。

2つ目でございます。阿佐谷地域区民センターと産業商工会館の複合
化により、機能の効率化を図るとともに、多目的用途に対応できる集会
関連機能を整備し、交通至便な立地条件を生かして、地域の活性化や区
民の利便性の向上を図ってまいります。

「2 今後の取組」でございます。ただいまご説明いたしました、基本的な考え方を具体化するため、杉並第一小学校改築・複合化検討懇談会を設置し、この懇談会での意見等を踏まえ、平成27年度末までに杉並第一小学校等複合施設建設に係る基本構想・基本計画を策定してまいります。

この基本構想・基本計画を踏まえ、平成28年度に杉並第一小学校等複合施設整備に係る基本設計を実施してまいります。

3つ目でございます。「今後のスケジュール(予定)」でございます。平成27年7月、今月になりますが、杉並第一小学校改築・複合化検討懇談会を設置いたします。12月に杉並第一小学校等複合施設整備に係る基本構想・基本計画(中間のまとめ)を作成いたします。

そして、来年、平成28年1月にこの中間のまとめに関する保護者とそれから地域住民等への説明会を行ってまいりたいと思います。3月には杉並第一小学校等複合施設整備に係る基本構想・基本計画を策定いたします。

1枚おめくりいただきますと、この懇談会委員の名簿をおつけしてございます。上から杉並第一小学校の校長、副校長でございます。3番から6番は学区域の町会の会長の方、7番からは、学校関係者ということで、PTAの会長、それから前会長、学校運営協議会の委員、学校支援本部の方、青少年委員となります。16番から21番でございますが、こちらは複合施設ということで今ご説明いたしました、区民生活部、そして産業振興センター所管の施設を複合化する予定でございますので、そちらにかかわりのある商店街関連の方々ということになります。そして、学識経験者として22番、23番、関口氏は私どもの杉並区の都市計画審議会の委員でございます。23番は齋尾(さいお)氏、東京工業大学教育施設環境研究センター准教授でございまして、齋尾准教授は、ご専門が建築計画、地域施設計画で一級建築士でございます。

ただいま、文部科学省では、学校施設と他の公共施設等との複合検討部会というのを設置して学校と他の施設との複合化というのを検討しているのですが、その委員を務めていらっしゃる方でございます。説明は以上になります。

庶務課長 それでは、ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等ございますでしょうか。

對馬委員 複合施設ということで、この懇談会の委員さんもいろいろなところの代表の方がいらっしゃる。恐らくいろいろな意見が出るとは思いますが、やはり、大事なのはその未来の子どもたち、そして未来のその地域に財産を教育財産と、それから地域の財産をつくっていくことなのかなと思いますので、その委員の皆さんは、皆さん前向きになっていいものをつくろうという気持ちで会議を進めていただけるような、そんな会になっていただけたらいいなと思います。

庶務課長 ほかにご意見ございますでしょうか。

伊井委員 複合施設ということで、地域の方々を受け入れるいいチャンスでもあると思うのですが、そういう意味で、本当に魅力ある施設になるようにと願っている一方で、地域に開かれたところと、それから子どもたちの安全を守るために閉じるところとのバランスというのでしょうか。そこはすごく大事になりますし、逆にそこで大変魅力あるものであったり、それから、今、子どもたちに学習面でもいろいろな形で学びとして地域の方やその外部の能力を取り込んで行くのにも有効になるような施設づくりというのをぜひ目指していただけたらありがたいなというふうに思います。

それから、これは進んで行く段階での公表の仕方とか、それから保護者、地域へのお知らせの仕方ですね。そこは、本当にある程度この委員会が閉じてしまうと、そこから先がなかなか見えなくなっていく部分もあると思いますので、ぜひ、そういった経過も地域の方を含め、区民の方々にもお諮りいただけるような対象になっていただけたら大変うれしいなと思います。よろしく願いいたします。

学校整備課長 複合施設となりますので、当然、学校は教育環境整備というのは最優先いたしますが、今おっしゃいましたように、事業の安全性は当然守ると。ただ一方で、複合ですので、その複合した施設とのリンクをうまくして、そして、学校教育にそれを生かせる。そういった設計にしていきたいというふうに思っています。

それから、情報の発信でございますけれども、通常、改築工事でございますので、条例などに基づいた説明会というのは、当然、実施いたしますが、今回はこの複合施設は杉並区としても非常に大きなプロジェクトでございますので、保護者、学校関係者への説明はもちろんのこと、地域の方々へのご説明なども折に触れやっていかなければいけないと思

っております。

今回ご説明申し上げました、検討懇談会は、これから大体月に1回程度行って行って、年度末に報告書をまとめるということにしておりますけれども、この中での議論は、地域の方々、それから学校関係者の方、保護者の方にニュースとしてお配りをする予定でおります。

伊井委員 すごく駅にも近いので、どれだけ人気が出るかなというか、大変な部分もあると思うのですけれども、ぜひ魅力ある施設で、また未来に向けた形でご検討いただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

庶務課長 ほかにご意見ございますでしょうか。

馬場委員 2点お尋ねしたいなと思います。これから、いろいろな説明会も含めてご意見等が出てくると思うのですけれども、多分、その対応について非常に難しい部分の問題点も出てくるかなと思います。教育環境の整備とあわせて、地域の活性化や区民の利便性の向上を図るという大きな2本の柱があるのですけれども、私たちとすれば、地域の方たちはそういう思いもあるのですけれども、やはり教育環境の整備というのをまず第一に掲げてもらいたいなというふうに思っているところなので、ぜひその辺については十分ご理解いただくような方向での対応というものを進めていっていただきたいなということ。

それから、教育環境の整備ということで、今もお話あったように、ちょっとそういう複合的な施設とか、新しい施設なので、やはり人気というか、そういう高まりというのは非常に出てくるのではないかなと思うのですね。児童数がこのあたりで実際どのぐらいの推移を予想されているのか、教室をつくる数によってもとか、あるいは教室の環境というか、例えばオープンスペースを有したものにしていとか、そういう部分もあるのではないかなと思うのですが、その辺との絡みというのが非常に予想以上に難しいなと思うのですけれども、そのあたりについてもちょっとお話を聞かせいただければなと思います。

学校整備課長 現在、杉並第一小学校の児童数が424名でございます。このような横ばいかなというふうに思っていますが、他の学校の例も聞きますとやはり学校を改築すると児童・生徒が集まるという傾向がございますので、教室数については十分検討してまいりたいというふうに思います。

それから、他の施設との複合ですけれども、他の自治体の施設なども見学に行っておりまして、それは先行事例を参考にしながら、先ほど申し上げたように、学校教育を守るのみとそれから融合することによって新たな、140年の歴史のある学校でございますので、地域の方々に非常に支えられている。それがまたさらに強く地域の方から支えられて、区民の方の利便性も高まりつつ、さらに学校としての魅力、そして、この施設設備を高めるような設計していきたいというふうに思っています。

庶務課長 ほかにご意見等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、ないようですので、報告事項は以上とさせていただきます。

教育長 それでは、以上で本日予定されておりました日程は全て終了いたしました。

庶務課長、何か事務連絡はございますか。

庶務課長 次回の日程でございますが、7月22日水曜日午後2時から定例会を予定しております。よろしくお願いいたします。

教育長 ありがとうございます。それでは、本日の教育委員会を閉会いたします。